

# 第2回市民講座

## 「誰でも出来る口腔ケア」

6月25日(月)蒼生病院にて第2回市民講座を行いました。今回の講座は「誰でもできる口腔ケアーご自分と家族のためにー」というテーマにて、当院歯科口腔外科 中野医師が講演をしました。当日は好天にも恵まれ、たくさんの方にご参加頂き、会場はほぼ満席となりました。

講座では動画を交えて、口腔ケアの効用から顎関節脱臼の整復方法などのお話がありました。質疑応答では、たくさんの質問を頂き、大盛況のうちに終了することが出来ました。

前回に引き続き、市民の皆様と一緒に多くのことを学ぶことができた市民講座となりました。たくさんの方にご来場いただき、ありがとうございました。



☆アンケート用紙に記入された質問の回答を中野先生から頂きました。

**質問: 最近よだれがでできます。どうしたらよいでしょうか？**

回答:

よだれ(流涎症)は顔面神経麻痺(額にしわがよらない・目が閉じられない・口角があがらないなど)のような耳鼻科的な病気や、パーキンソン病のような神経内科的な病気などがなければまず調べる必要があると思います。

また上顎前突(出っ歯)や下顎前突(受け口)などで口唇の接合不全(唇を閉めれない)のような歯科的な局所の状態にないかを確認しなければなりません。

そのような全身的な病気や局所の状態がなければ、「タコの口」や「真一文字」に唇に力をいれるなど、口唇の筋訓練をして、口唇の接合(唇のしまり)を強化することで効果のある場合もあるかもしれません。

いずれにしても、そのほかにも精神神経科的な病気や薬剤なども関係することがあり、患者さんによって様々ですので、唇の筋訓練によってまったく改善しない場合は、一度耳鼻科や神経内科や歯科口腔外科など医療機関を受診して精査することをお勧めします。

## 質問:口腔内隆起があります。ほっておいても良いですか？

回答:

下顎隆起や口蓋隆起といわれる口内の骨隆起は、噛みしめや喰いしぼりのあるひとに多いとも言われていますが、その原因は不明です。原則、ほっておいてもかまいません。

ただ、「入れ歯をつくるときに邪魔になる」とか、「食べ物がよくあたり口内炎がしやすい」とか、「しゃべりにくい」とか、「どうしてもたちの悪い病気が気になって仕方ない」などがある場合には削ることがあります。

手術時間は局所麻酔で30分～1時間くらいですみます。入院下に全身麻酔でやっている病院も少なくありませんが、当院では外来通院で行うことができますので、お困りのかたは歯科口腔外科にご相談ください。

## 質問:黒毛舌があります。どうしたらよいですか？

回答:

毛舌は、口内の衛生状態が不潔になりやすく、細菌いっぱいの唾液が気管に入ったり、細菌自体が血管内に入ったりすることが多くなり、誤嚥性肺炎や心筋梗塞など様々な全身的な病気のひとつの関係要因になる可能性があります。

また口臭の原因になったり、美容上の問題になったりして、対人面で障害になることもありますので、除去しておいたほうがよいと思います。

ただ、多くの場合は原因不明であり、除去しても再発することが多いという難点がありますので、繰り返して行うことが必要になります。

処置は、無麻酔で痛みもなく10分程度ですみますので、当院では1～2週間に一度の割合で継続してやっています。この毛舌摘除はやっている病院が少ないので、お困りのかたは当院歯科口腔外科にご相談ください。

**身体にお悩みがある方は受診または地域医療連携室にご相談下さい。**

**蒼生病院**